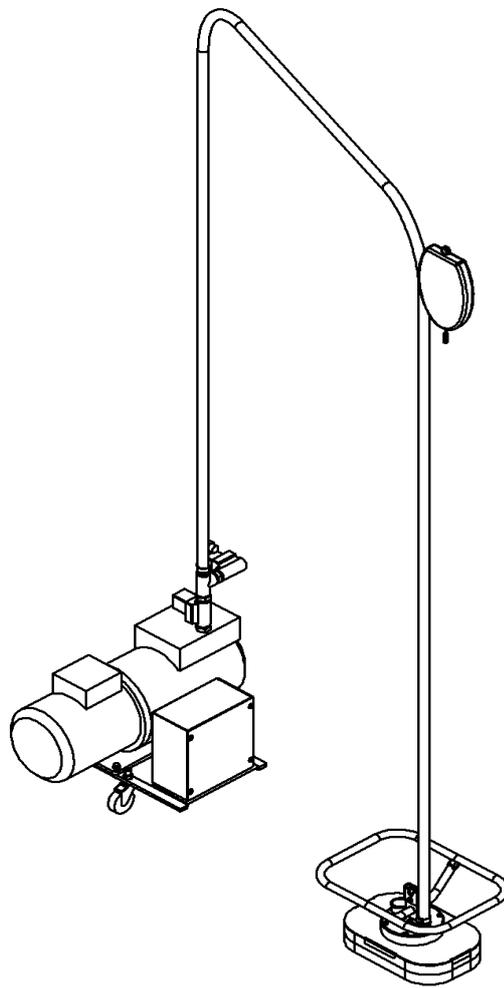


取扱説明書

RHL-OP10C

吸着パットセット



正しく安全に効率の良い作業をしていただくために、
ぜひ心掛けていただきたいことを述べていますので、
ご使用前に必ずお読みください。誤った使い方をすると、
事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後は必ず製品に近接して保存してください。

ライスホルダー吸着パットセットを お買い上げいただき、ありがとうございます

はじめに

● この取扱説明書は吸着パットセットの取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。

本製品は弊社にて販売しておりますライスホルダーに使用する製品です。
基本的な注意事項や操作等はライスホルダー本体の取扱説明書を参考にしてください。
又その取扱説明書を熟読してから本書をお読みください。

ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でご使用ください。

●お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

●製品を貸与または譲渡される場合はこの取扱説明書を製品に添付してお渡しください。

●この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに弊社または弊社の特約店・販売店にご注文ください。

●なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。
その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●ご不明なことやお気付きのことがございましたら、特約店・販売店にご相談ください。

●  付の下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

 **危険**

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告**

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意**

この警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

●この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載しております。使用前に必ずお読みください。

目次

1. 安全に作業をするために	4
2. サービスと保証について	5
3. 仕様	6
4. 本製品の使用目的について	6
5. 各部の名前	7
7. 安全銘板の貼り付け位置	8
8. 設置と作業準備	
1. 真空ポンプと電磁弁を取付	9
2. 吸着パット、吊り金具の取付	9
3. 吸着パットを純正チェーンブロック以外に取り付ける際にボルト止め となった場合	10
4. ホース設置、取り回しについて	11
5. 解放スイッチの取付、コードの取り回しについて	12
6. 真空ポンプ回転方向、真空圧確認	13
9. 吸着パットの作業方法	14～15
10. アタッチメントの使用方法	16
11. 日常の点検と保管方法	17
12. 吸着パット交換方法	18
13. 故障と対策	19

安全に作業をするために

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

●一般的な注意項目

▲ 警告

- 疲労、病気、薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できない。
- お酒を飲んだとき
- 妊娠しているとき
- 18才未満の人
「守らないと」
思わぬ事故の原因になります。

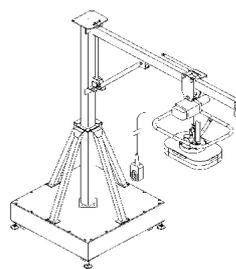


▲ 警告

点検・整備は、必ず電源を「OFF」にし 差し込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源を「OFF」にし、差し込みプラグを抜いてから行ってください。

差込プラグを抜いて！！

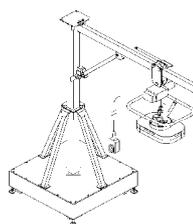


▲ 注意

必ず作業前の点検をする

本機を使用する前に必ず作業前の点検を行い、異常箇所は直ちに整備してから作業を始めてください。また、作業後も点検を行って異常がないかチェックしてください。

異常なし！



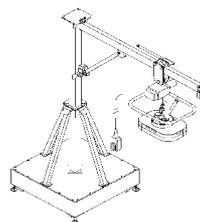
しっかりと点検を！！



▲ 注意

支柱、ストッパー類は必ず取り付ける

点検・整備などで外した支柱、ストッパーなどは必ずボルト、ナットで確実に締め付けてください。
「取り付けないと」
倒壊や脱落により機械の損壊、人身事故を起こす可能性があります。



サービスと保証について

●保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。
お読みになった後は大切に保管してください。

●アフターサービスについて

機械の調子が悪い時は「故障と対策」に従って点検、処置してください。
処置してもなお不具合があるときには、下記の点を明確にしてお買上頂いた
販売店又は近くの当社営業所まで連絡してください。

<連絡して頂きたい内容>

○型式名と製造番号

○ご購入時期

○ご使用状況は？

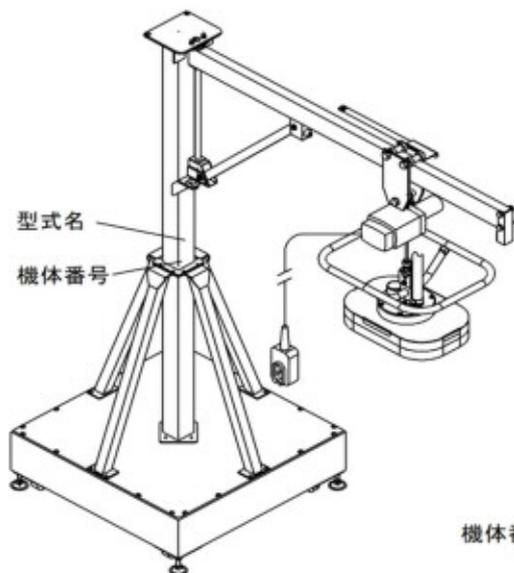
○どのくらい使用されましたか？（約〇〇時間使用后、等）

○不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

●補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限（期間）は製造打切後8年です。

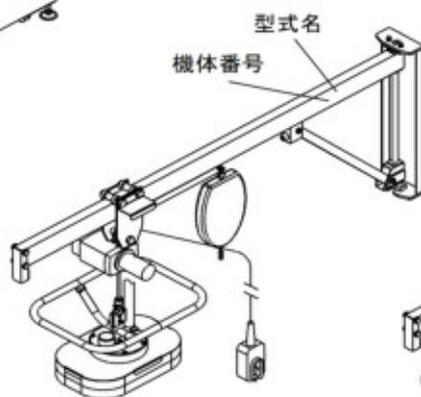
ただし、供給年限内であっても特殊部品については納期などをご相談させて
頂く場合もあります。補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了
しますが、供給年限経過後であっても部品供給の要請があった場合には、納期
および価格についてご相談させていただきます。



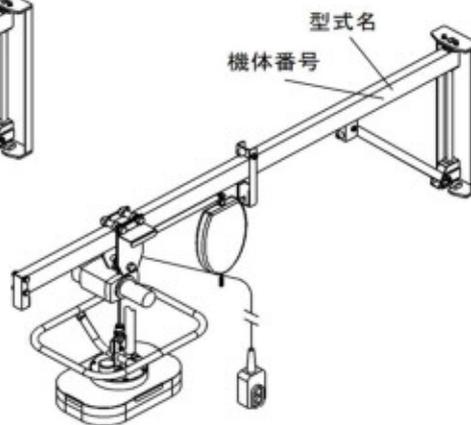
(RHL20CP)



(RHL-OP10)



(RHL24CP)



(RHL30CP)

下記型式は
ライスホルダー各種と
吸着パットのセット
RHL20CP
RHL24CP
RHL30CP

仕様

型式	RHL-OP10C
品名	吸着パットセット
重量 (kg)	55 (吸着パット+真空ポンプセット一式)
チェーンブロック	100V 300W
真空ポンプ仕様	三相200V 1.1kw
最大吊り荷重 (kg)	35

本製品の使用目的について

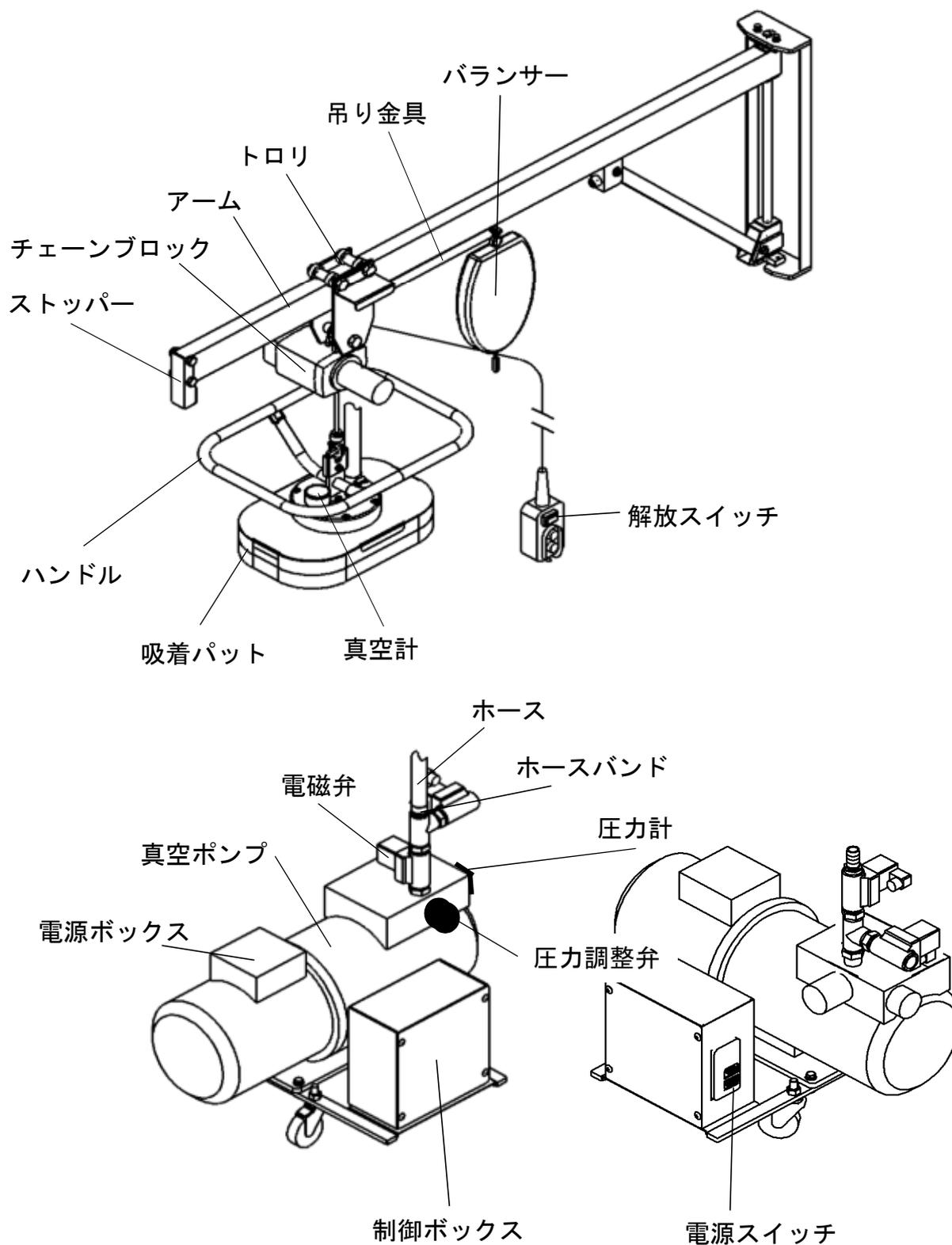
本製品は規定量に袋詰めされた米・麦を移動させる器具としてご使用ください。その際、最大吊り荷重を超えないようにご注意ください。

使用目的以外の作業や改造などは決してしないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。

各部の名前 (RHL-OP10)

RHL24CPセット状態にて



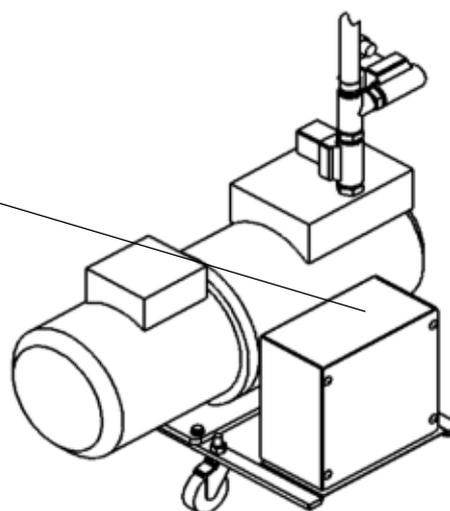
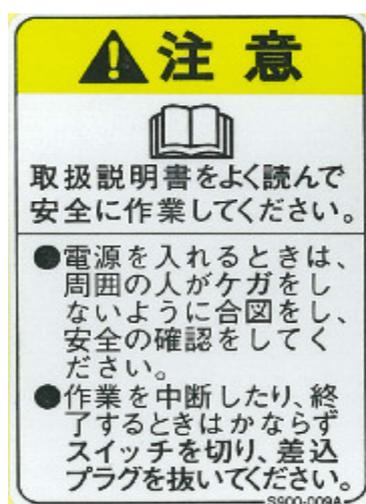
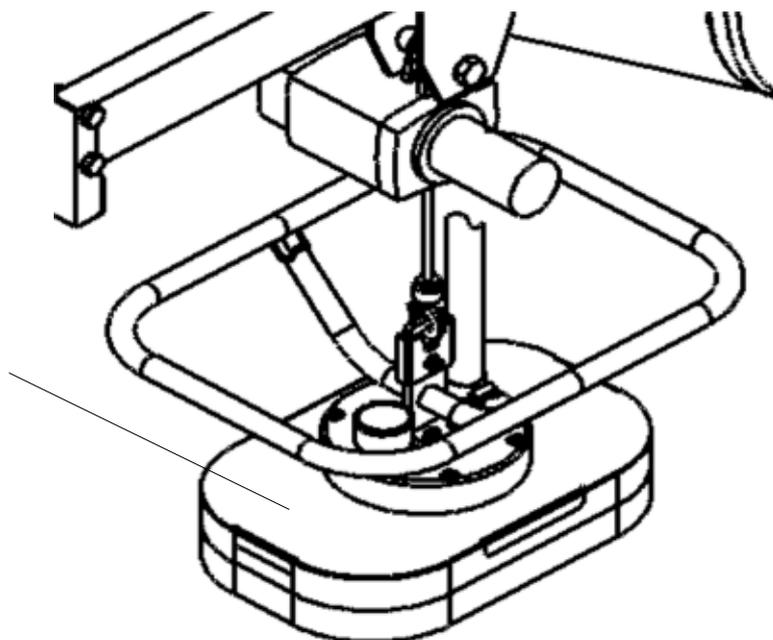
安全銘板の貼り付け位置

安全に作業して頂くために安全銘板の位置を示したものです。

安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち

もし破損・紛失した場合は、新しいものを購入して頂き

貼り直してください。



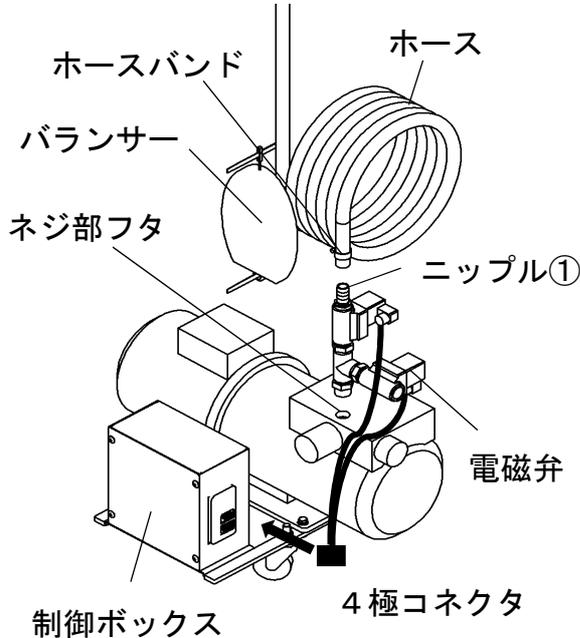
設置と作業準備



危険

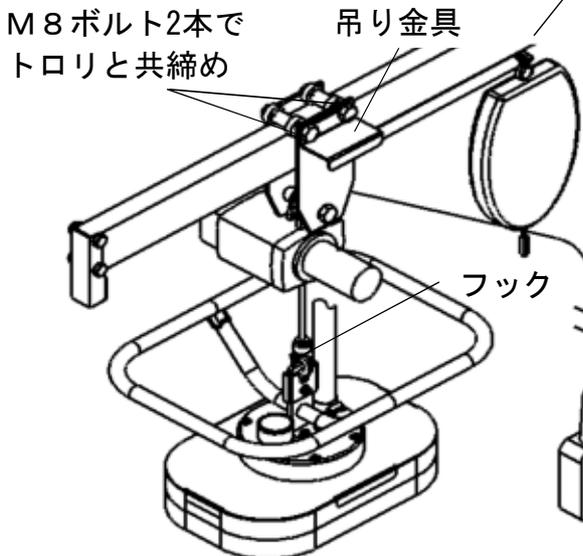
真空ポンプの電源は必ずOFFの状態で行ってください。
 思わぬ物を吸い込んだり地面に吸着した状態でそのまま操作すると
 機械の転倒、または機械の故障につながり非常に危険です。

1. 真空ポンプと電磁弁を取付



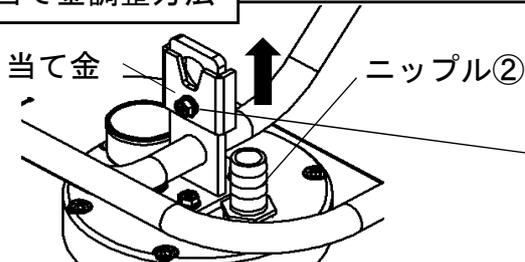
- ・真空ポンプのネジ部フタを外し電磁弁を取付けしてください。
シールテープがついているので最後まで締まりません。
締めすぎに注意してください。
- ・バルンサーがついていない側のホースをニップル①に30mm程差し込んでホースバンドで固定してください。
- ・電磁弁から出ている電線の先端についているコネクタ（4極オス）を制御ボックス裏側のコネクタへ差し込んでください。
しっかりと奥まで差し込んでください。

2. 吸着パット、吊り金具の取付



- ・インシュロックで固定
- ・吸着パットをチェンブロックのフックへ取付けしてください。当て金を下図のようにスライドさせてください。
- ・ホースを約30mm程ニップル②に差し込んでホースバンドで固定してください。
ホースはバルンサーがついている側を差し込んでください。
- ・吊り金具は左図のように、トロリ上部のM8ボルト2本を使って共締めしてください。
- ・吊り金具先端には穴が開いています。バルンサーを付属のインシュロックでしっかりと固定してください。

当て金調整方法

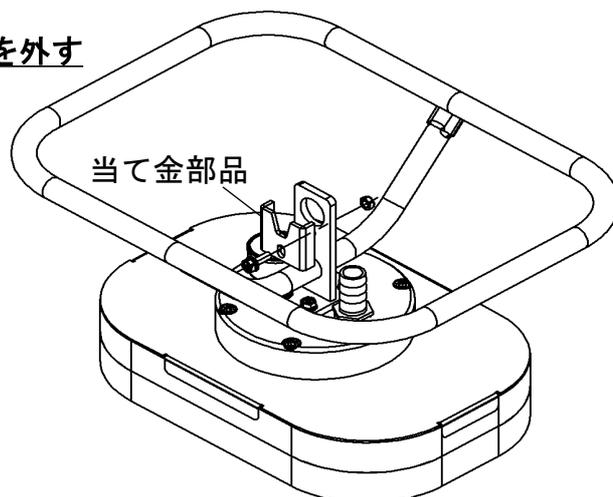


当て金を固定しているナット、ボルトを緩めて当て金を上にスライドさせて、フックとの隙間を詰めてください。
 ボルト、ナットの順に締め直して固定します。

設置と作業準備

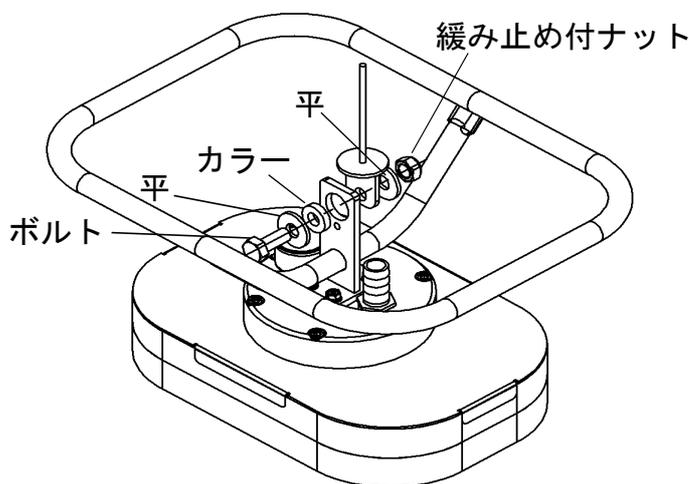
3. 純正チェーンブロック以外に取り付ける際にボルト止めとなった場合
IRINOライスホルダー純正のチェーンブロック以外に取り付ける場合にはボルトで締め付け固定しなければならない場合があります。その際は下記要領で取付をしてください。

①. 当て金部品を外す



- ・吸着パットをボルト止めで取付する際には箱に同梱してあるカラー部品を使用してください。
上図の通り、ナット、ボルトを外して当て金部品を外してください。

②. カラーを入れて相手部品とボルト、緩み止め付ナットで固定する



- ・平座金、カラー、相手部品、平座金と共締めしてください。
ボルトと平座金2枚、緩み止め付ナットが同梱されています。
平座金を使わないとカラーが抜けて、吸着パットが落下する恐れがありますので上図のように平座金で挟み込むように取付してください。
使用するナットは緩み止め付ナットですので、締めこんだときに動きが悪ければ半周ほど緩めてお使いください。

設置と作業準備

4. ホース設置、取り回しについて (RHL20CP)

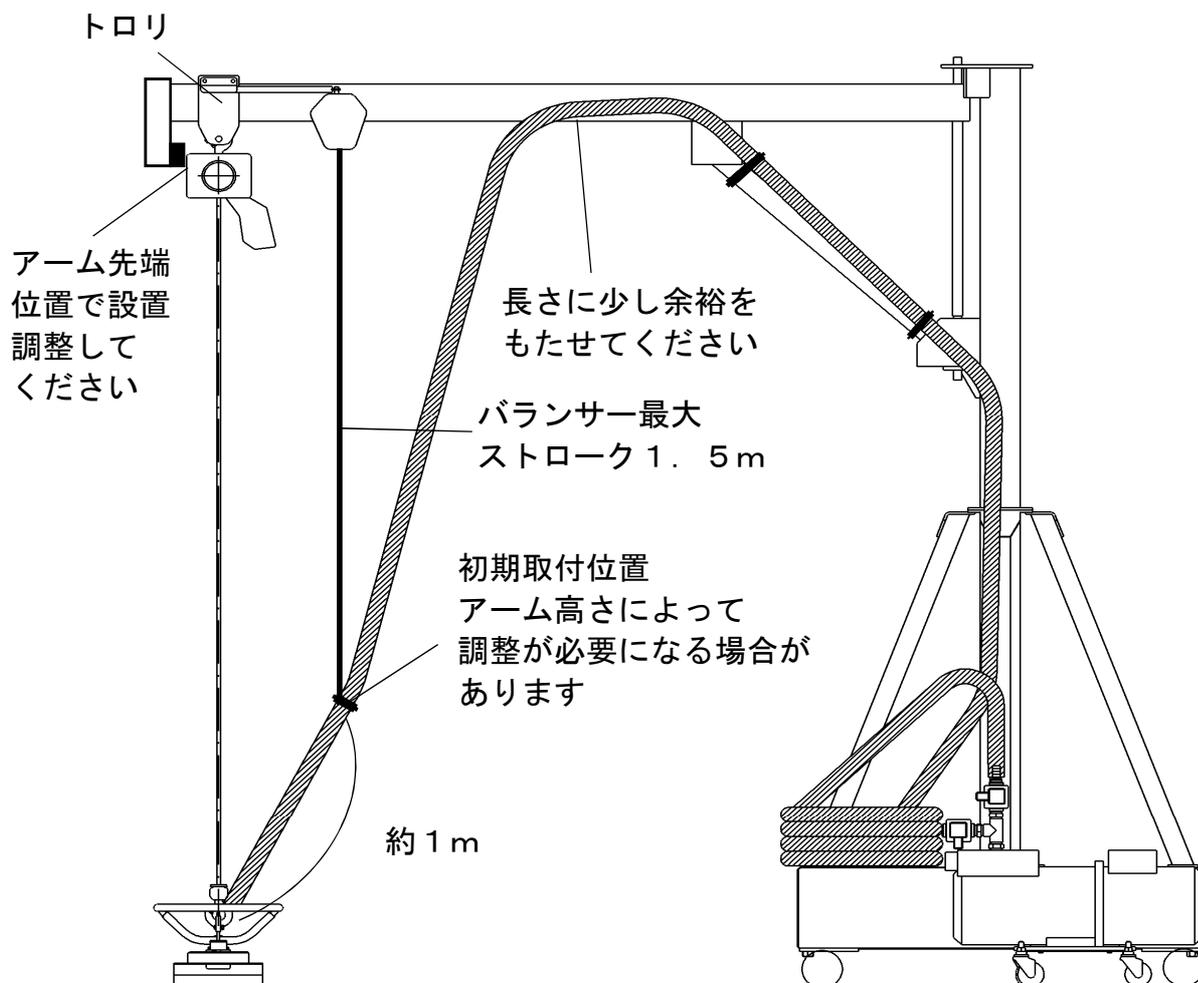
(RHL24CP、RHL30CPでもホースの余り長さの違いだけです)

- ・必ずアームの先端で一番下まで吸着パットを降ろした状態でホースを設置、取り回ししてください。この状態で設置しないとホースのたるみ、吸着パットが袋に届かない、等の原因になります。
- ・ホースは標準で10mの長さです。ランサー先端が吸着パットから約1mの位置にインシュロックで固定してありますので、通常はそのままお使いください。取り回しは下図を参考にしてください。

どのような場合、ランサー先端取付位置調整が必要になるか

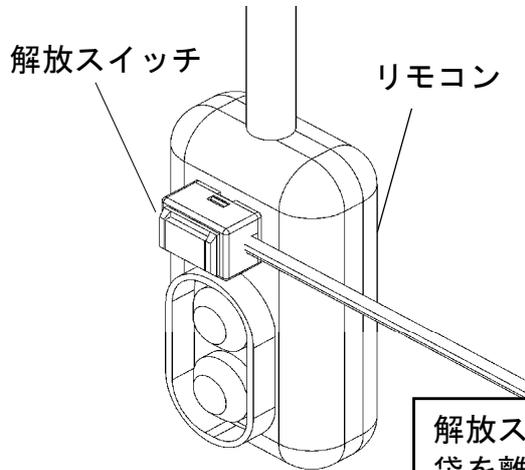
アームの取付高さが高所になる場合ランサー先端位置を調整しないと吸着パットが下まで降りない状況になります。その場合にはランサー先端を固定しているインシュロックを緩めて位置を調整してください。

(ランサーの最大ストローク 1.5m)



設置と作業準備

5. 解放スイッチの取付、コードの取り回しについて (RHL20CP) (RHL24CP、RHL30CPでもコードの余り長さの違いだけです 下記はアタッチメントを使わない場合、アタッチメント使用の場合はP. 16



- ・解放スイッチ裏側に両面テープが貼ってありますので、剥離紙をはがして左図のようにチェンブロックのリモコンへ貼り付けてください。
- ・スイッチのコードは10mあります。リモコンの電源コードに這わせてインシュロック、またはテープにて設置してください。

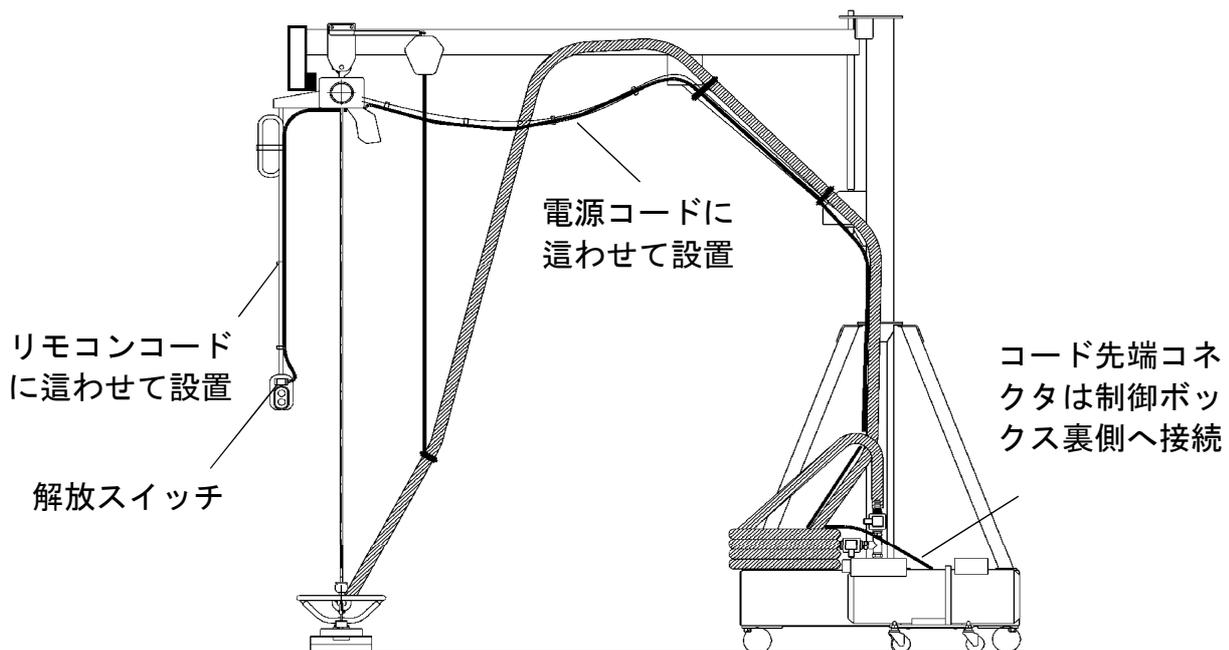
解放スイッチを押すことで、吸着している袋を離すことができます。押すと即座に離れますので、袋の位置、高さにご注意ください

注意

解放スイッチの貼り付け位置は上図の位置を推奨します。他の位置へ貼り付けるとスイッチを押しやすくなる場合もありますが、押しやすいがゆえに誤ってスイッチを押し、意図せず袋が落下してケガや袋の破損につながる恐れがあります。

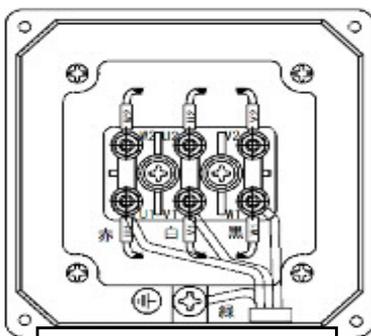
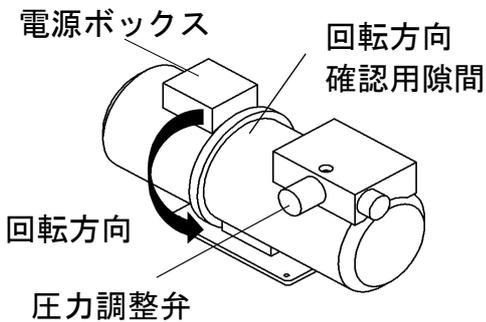
・チェンブロックリモコンから解放スイッチコードの取り回し

チェンブロックのリモコンコード、電源コードを這わせてインシュロック、またはテープにて固定し真空ポンプまで設置します。制御ボックスのコネクタ（2極メス）へコード先端のコネクタを差し込みます。



設置と作業準備

6. 真空ポンプ回転方向、真空圧確認 (用意する物: 30kg米入り袋)



電源ボックス内部



吸着パット真空計
(使用範囲)



真空ポンプ圧力計

注意

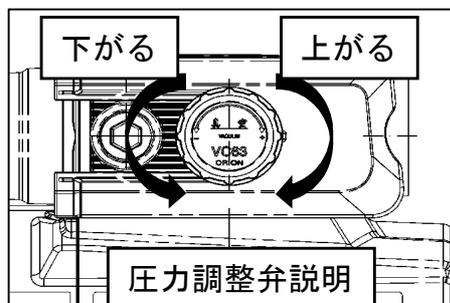
- ・ 3相200Vへ電源接続し
制御ボックスのスイッチをONにします。
左図の隙間から回転方向を確認し、
合っていればそのまま使用できます。
もし回転が逆の場合は電源ボックスをあけて
赤と黒の線を入れ替えてください。
(7mmスパナが必要です)
- ・ 次に解放スイッチを押した状態で、
真空圧の確認です。
吸着パットの真空計を確認します。
-50kPa付近に緑色の目安があります。
針が-50kPa±5付近にあることを
確認してください。
その状態で今度は真空ポンプについている
圧力計を確認します。
-60kPa以内になっていればOKです。
もし-60kPaよりも上の数値であれば
-60kPa以内になるように圧力調整弁
を左に回してください。
-60kPaよりも上の真空圧 (NGゾーン)
で長時間作業をすると故障の原因となります

30kg米袋

適正真空圧 -50kPa

吸着パット真空計にて
(±5程度は問題ありません)

- ・ 確認が出来ましたら、解放スイッチを離して
密閉状態を解除してください。



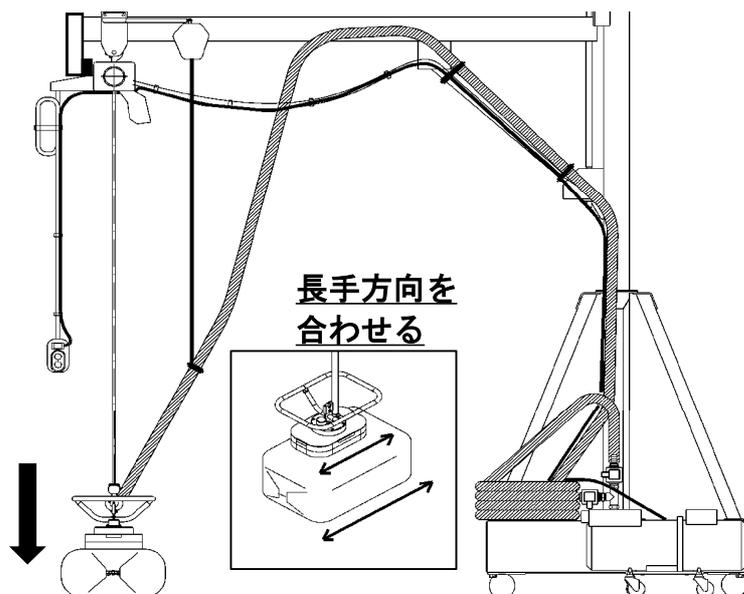
圧力調整弁説明

出荷時は自社で適正な真空圧になるように調整しておりますが
電力の周波数、袋の種類や、形状で真空圧が変化します。
変更があった場合や、一日の作業前には必ず真空計を確認してください。

吸着パットの作業方法

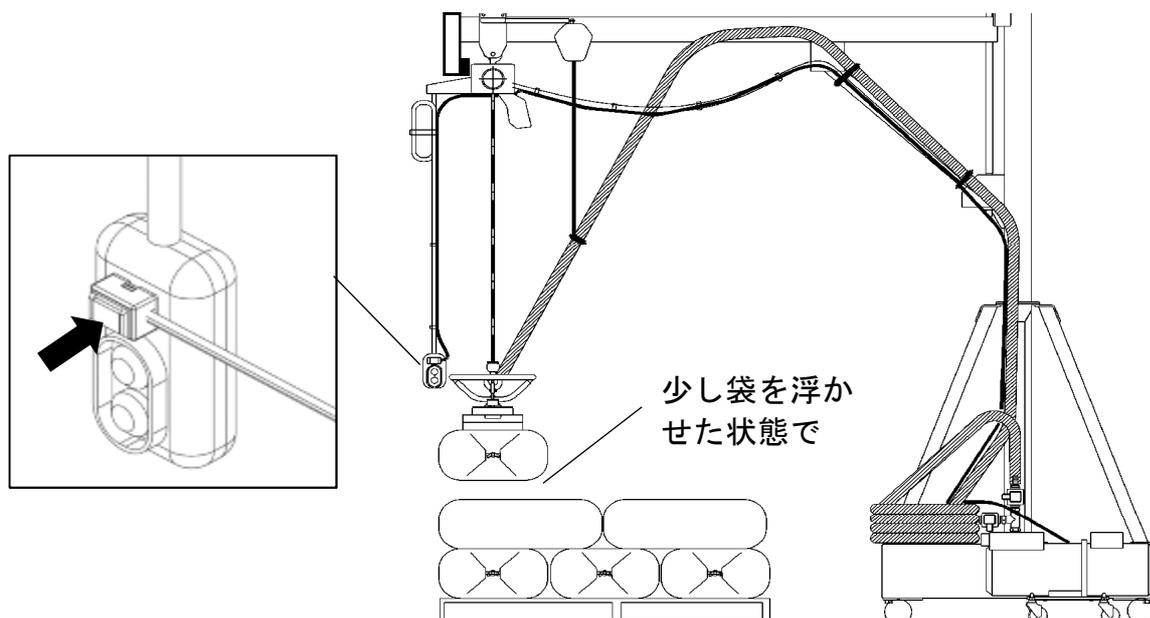
袋を吸着する

- ・チェーンブロックを操作して吸着パットを袋へ乗せるように降ろしてください。この時、袋の長手方向と吸着パットの長手方向を合わせてください。また、袋の中心付近を吸着するようにしてください。袋に吸着パットが乗るとすぐに吸着します。吸着パットの真空計が -50 kPa 付近を示していれば完全に吸着しています。(袋によっては $-40\sim-60$ になる場合もあります)チェーンブロックを操作して吸着パットを上げて袋を搬送してください。



袋を解放する

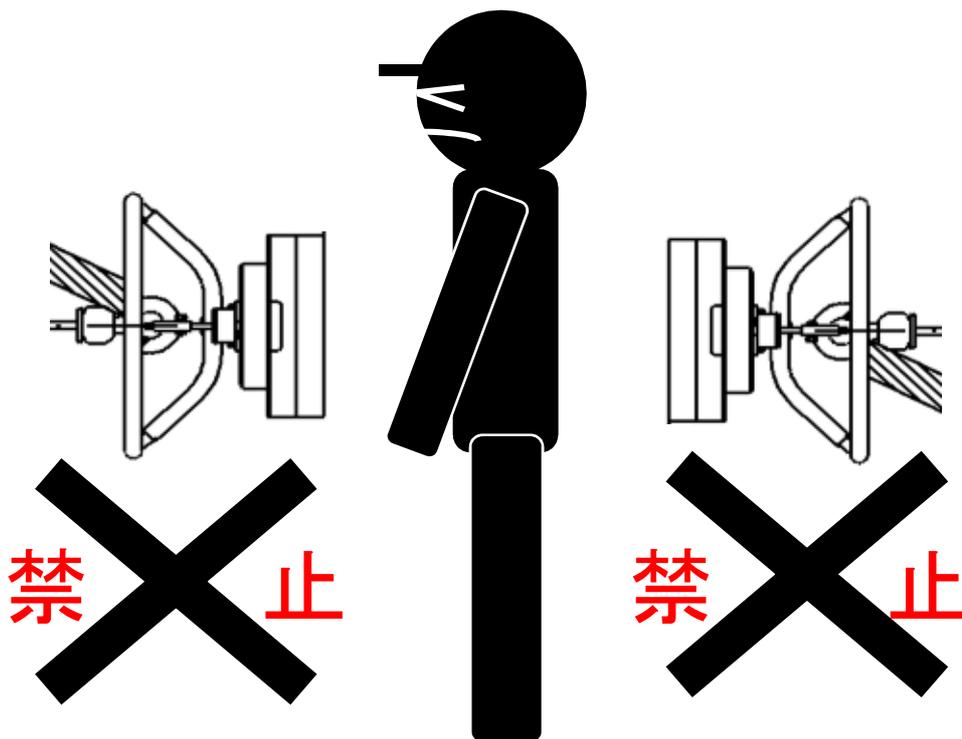
- ・袋を下ろすときは、下図のように袋を置きたい場所の少し上側にてリモコンに設置した解放スイッチを押します。電磁弁が作動し真空圧が遮断され袋を離します。この時、袋が浮いた状態で離さないとすぐにまた吸着してしまいますのでご注意ください。
(袋の破損につながりますので高所から落とさないようにしてください)



吸着パットの作業方法

▲ 警告

- ・吸着パットを人体へ絶対に使用してはいけません。
特に背中やお腹のような面積が広い部分には容易に吸着してしまいます。
一度吸着してしまうと、解放スイッチを押さないと自力では取れないような強い吸引力が発生し、重症を負う可能性があります。



危険です！！！！

▲ 注意

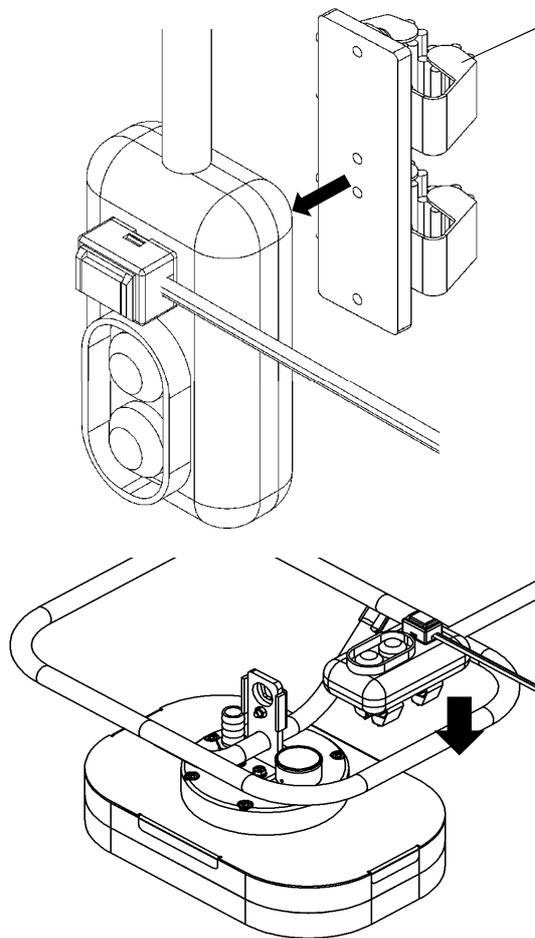
- ・電源をONにすると常に吸引しています。
周囲に吸われやすい物を置かないでください。

▲ 注意

- ・袋を吸ったまま放置しないでください。
作業を中断する際には、必ず袋を吸着していない状態にしてください。
吸着パットに跡ができ、そこから吸着不良を起こす可能性があります。

アタッチメントの使用法

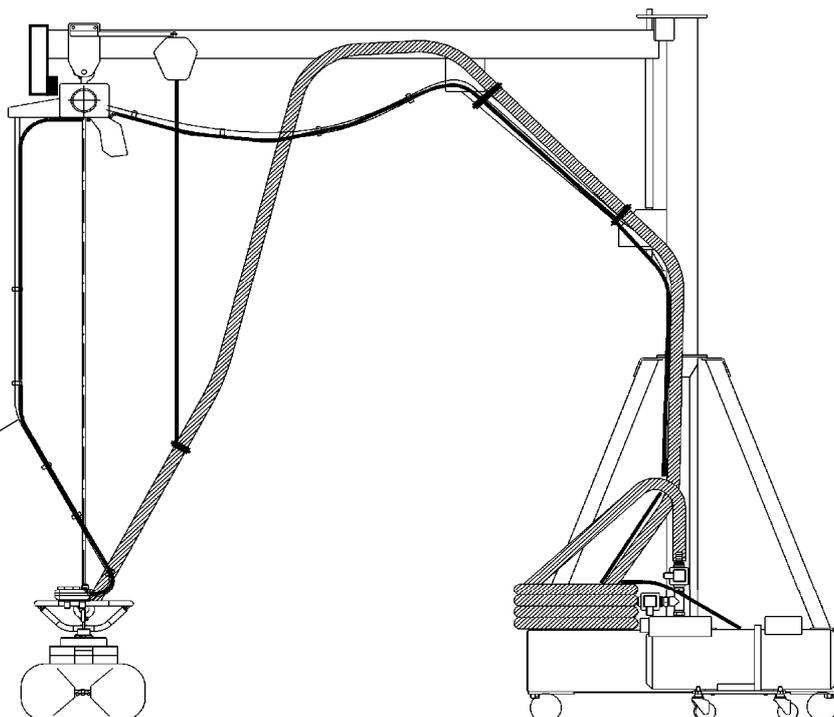
吸着パットとチェーンブロックリモコンを一体にして作業したい場合



アタッチメント

- ・吸着パットとチェーンブロックのリモコンを一体にして使用したい場合のアタッチメントです。
(箱に同梱してあります)
- ・アタッチメント裏側に両面テープが貼ってありますので、剥離紙をはがしてチェーンブロックのリモコン裏側へ貼り付けてください。
- ・吸着パットのパイプ直線部分に押し付けるようにして取り付けます。外したいときは逆方向へ引っ張ることで外すことができます。
- ・このアタッチメントを使う際にはリモコンコード長さを最下部まで届くように調節が必要です。下図を参考に調節してください。

リモコンコードが突っ張らないように調節。突っ張るとリモコンが外れます

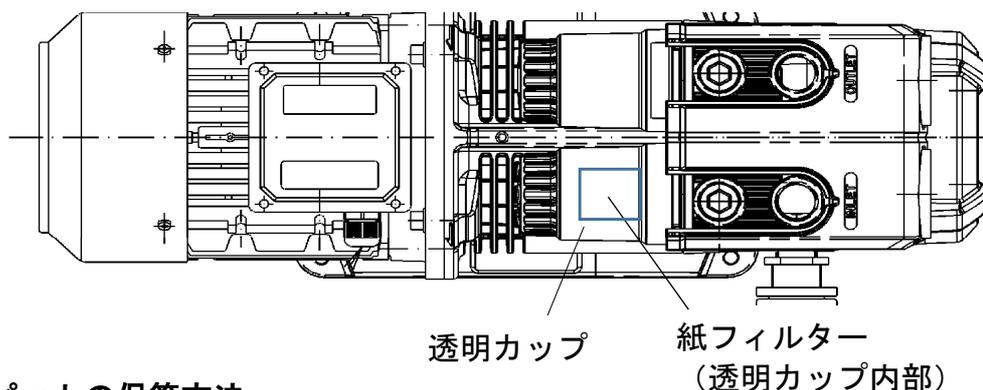


日常の点検と保管方法

▲ 警告 点検、整備の際は必ず電源プラグを抜いた状態で行ってください。守らないと怪我をする恐れがあります。

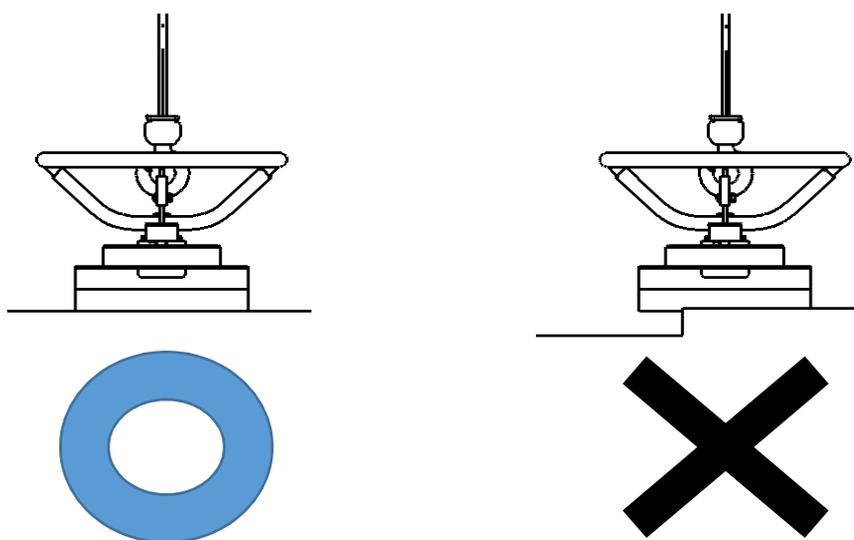
真空ポンプの日常点検、清掃（毎作業前）

- ・ 一日一回作業前に真空ポンプの紙フィルターを外して掃除してください。透明カップを外して、紙フィルターを掃除してください。ゴミがたまると吸着力の低下につながります。
- ・ 電磁弁をつなげているネジ部にゆるみが無いか確認してください。ゆるみすぎると吸着力が低下につながります。



吸着パットの保管方法

- ・ 吸着パットは宙づり、または平坦な場所に置いて保管してください。長時間変形した状態にしておくと、変形した型が残り吸着力が著しく低下する原因となります。（吸着したまま長時間放置もNGです）
- ・ 長期保管する場合は、吸着パットを不透明なビニール袋等で覆ってください。ゴム部品は日光で劣化が進みますので使用可能な年数が減る可能性があります。



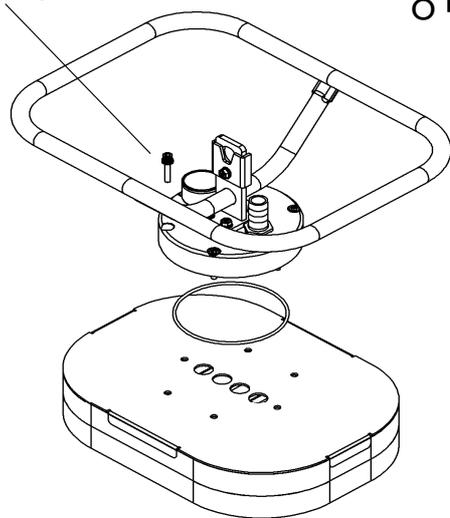
吸着パット部品は消耗品です。経年劣化により、ゴム部が固く、もろくなり最終的に袋を吸着できなくなります。吸着部の部品は交換可能ですので販売店へお問い合わせください。交換方法→P. 18

吸着パット交換方法

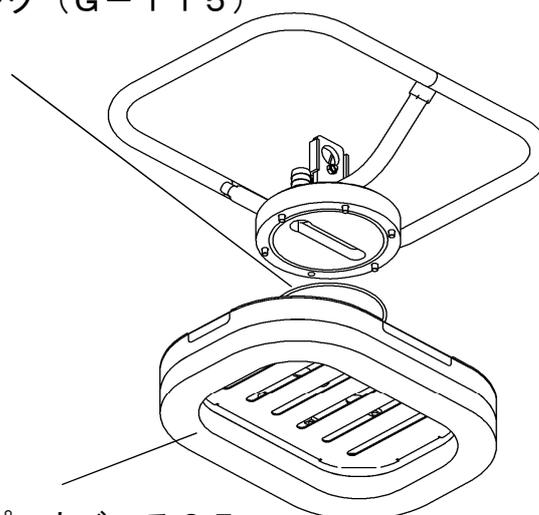
吸着パットの交換が必要な場合

- ・ 6本の六角穴付きボルトを外すと下図のように分解できます。
交換用の吸着パット部品とOリングをセットして、先ほど外した6本の六角穴付きボルトで締め直してください。
六角穴付きボルトを締める際は、対角上に締めていく等、均一になるように締めていってください。

六角穴付きボルト



Oリング (G-115)



FC吸着パットベース05

交換品品番、名称

RHL-OP11C 交換用吸着パット一式

上記品番には下記部品が含まれます

- ・ 56H347 FC吸着パットベース05
- ・ \$J64 Oリング (G-115)

FC吸着パットベース05を交換する際に、Oリングを同時に交換することをお勧めします。

故障と対策



注意

点検、修理をする際は必ず電源プラグを抜いた状態で行ってください。

現象	考えられる原因	対策
袋を吸着できない	・真空ポンプの紙フィルタがつまっている	・紙フィルタの掃除
	・ホースが折れ曲がっている	・レイアウトの見直し
	・ホースが外れかかっている	・ P. 9、11 参照し取付
	・真空ポンプの圧が低い	・圧力調整弁を回して調整 P. 13
	・電磁弁が作動しない	・販売店へ問合せ
	・吸着パットのゴムが劣化している	・販売店へ問合せ
	・袋の端を吸着している	・なるべく中心付近を吸着する
	・吸着パットに異物が付着している	・異物を取り除く
	・袋形状に対して吸着パット方向が合っていない	・方向を合わせる
	・Oリングが劣化している	・Oリングを交換する P. 18
袋を離せない	・解放スイッチが故障している	・販売店へ問合せ
	・コネクタが抜けている	・コネクタを差し込む
	・コネクタの接触不良	・販売店へ問合せ
	・コードの断線	・販売店へ問合せ
	・袋を離す位置が不適正（低すぎる）	・スイッチを押す際に袋を少し浮かせる
袋に傷がつく	・吸着パットゴムの劣化	・販売店へ問合せ
	・パット内部に異物が付着	・異物を取り除く
	・真空圧が高すぎる	・適正な真空圧に調整 P. 13

修理、交換の場合は純正品をお使いください。他社品にて予期せぬトラブルが発生しても対応しかねる場合がございます。



株式会社 岡山農栄社

本社営業部	岡山市中区雄町394-3	(086)279-6100
北海道(営)	旭川市工業団地5条3丁目3番1号	(0166)36-5115
東北(営)	仙台市宮城野区萩野町4丁目2-44	(022)232-5609
関東(営)	群馬県伊勢崎市東区粕川町1616	(0270)21-8127
九州(営)	熊本市東区健軍3丁目45-13	(096)368-7407
本社工場	岡山市中区雄町394-3	(086)279-0313

お客様メモ

購入日	年	月	日
購入店名			

-56H050B